

## 2 経営の基本方針

### (1) 農業集落排水に求められる役割

農業集落排水に求められる役割は下記のようにまとめられます。

- ① 汚水処理施設の整備（し尿、生活雑排水等の処理）を行うことにより、農業用排水（公共用水域）の水質保全を行う。
- ② 資源循環施設の整備（汚泥のコンポスト化施設等）により、農業用排水施設の機能維持、農村生活環境の改善、農村地域における資源循環を達成する。

1. 事業の概要の（2）経営比較分析表で検討したように、本市は水洗化率は 94%を超えており、農業集落排水に求められる役割を果たしてきていると言えます。

しかしながら、最も古い処理区は供用開始から 30 年経過しており、今後、老朽化による施設・管路の更新時期の到来が予想されます。また、経費回収率は、類似団体平均を大幅に下回っており、農業集落排水使用料で賄われない不足分を一般会計からの補填に依存している状況です。従って、老朽化への対応も自主財源が乏しい中では、現状のあるべき役割を維持し続けることは困難になることが予想されます。

### (2) 計画的かつ合理的な経営の推進

将来にわたり上記の役割を果たすために、下記の経営目標を掲げます。

- ① スtockマネジメントの考え方に基づいた管渠・施設の更新

管渠・施設の点検・調査を行い、法定耐用年数を超えている管渠・施設の中でも、改築・更新の必要性の高いものから優先的に投資を行い、改築・更新の必要性の低い管渠・施設については投資を先送りします。

- ② 管渠・施設の更新需要に対応する財源の確保と経費回収率の改善

使用料、企業債、繰入金、国庫補助の財源の積算を適切に行い、必要性の高い投資を可能となるように検討します。また、経費回収率を改善するために、使用料の改定や経費の削減など経営改善に取り組みます。